



学校だより 2月号

～和・希望・自立～

令和5年2月3日
福岡県立久留米聴覚特別支援学校

～経験をエネルギーに～

校長 いけぞえ まさかず 池添 昌和

2学期の終業式の式辞で次のような話をさせて頂きました。

「今日は、みなさんに私の小学校の頃の話をしてします。小学6年生の算数の授業でのことです。先生が、黒板に図形を書いて、それぞれの角にアルファベットを順番につけるように言われました。A、B、C、D・・・のように。当時、あまり勉強ができなかった私は、A、B、Cの後が中々続きませんでした。そういうときに限って当てられるものです。とにかくDまで答えた後に「F」と言ったところで、教室がざわめき、先生から「おいおい、覚えてないのか。アルファベットを順番に言ってみなさい。」と言われ、クラスの全員がどっと笑いました。はずかしいやら情けないやらで、その場に立ちつくして、ふと顔をあげると勉強のときは自分と同じくらいのKくんもニヤニヤ笑っているではありませんか。(もしかしたら勘違いだったかもしれませんが)それを見て、正直、怒りよりもKくんも覚えていることに驚きました。その日、私は学校から家に帰るやいなや、小3、4年の国語の教科書を引っ張り出し、ローマ字のページを見つけてアルファベットを必死に紙に書いて覚えました。それからそのことがほぼ日課となり、そのうちローマ字を一通り使いこなせるようになると、少し英語に興味を持った私は、母親に頼んで英語の参考書を買ってもらい、さらに勉強を進めました。もちろん友達には言わず、だれからも教えてもらうこともありませんでした。その後、アルファベットの筆記体を書けるようになり、本に出てきた単語や表現は発音がよくわからないままでもかたっぱしから覚えていきました。そうなる英語を使いたくなるもので、家からちょっと離れた大濠公園や舞鶴公園に行って散歩している外国人を見つけては話しかけて、ものすごく簡単な会話をして満足していました。いきなり声をかけられた方からすれば妙な子どもだなど思われたでしょうね。このことが後々英語と深くかかわるきっかけになったのかなと思っています。あの時、先生から指名されずみんなから笑われなければ、そして、Kくんが笑わずに下を向いていたら、(さらに勘違いしなければ)もしかしたら奮起して勉強を始めることはなかったかもしれません。「ピンチはチャンス」とよく言われますが、意外と身近にあるのかもしれない。自分にとって嫌なことは、意外と起こっていて、そのことをどのように切り替えていくかは、それぞれの人の捉え方次第だと思います。みんなから笑われたことでふてくされて英語自体が嫌になる可能性も大いにあったと思います。幸い私は、勉強意欲に結び付いたようです。ほめられたことやうれしいことが自分を前進させるエネルギーになることはあります。逆に恥ずかしい思いをするような嫌な経験(や勘違い)でさえ自分を動かすエネルギーになることもあります。様々な経験を経てどのように行動するかは、人のせいではなく、あくまでも自分次第であるということだと思います。」



さて、気が付くと今年も一月が経ちました。そして、今年度も残すところ2か月となりました。まだまだ

寒い日が続きますが、子ども達は毎日元気に登校し勉強や運動を頑張っています。桜が寒い冬を経験して初めて春にきれいな花を咲かせるように、子ども達も1年のまとめのこの時期をしっかりと乗り越えて大きく成長してくれることと期待しています。2月に入ってもまだまだ新型コロナウイルスの陽性者数の多さは油断ならないものですが、引き続き感染予防に万全を期して子ども達の学びを進めて参ります。どうぞ保護者の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いします。

成人おめでとう!～福岡県ろうあ者成人講座～

1月15日に福岡県聴覚障害者協会の主催で、ろう者の成人式である「福岡県ろうあ者成人講座」が開催されました。県内の新成人22名が集まり、本校卒業生は3名が参加しました。3名とも、高等聴覚特別支援学校(高等部)を卒業し、それぞれ自分の道をしっかりと歩んでいます。職場では、聞こえないことを伝えることで、職場の人たちが手話を覚えようとしてくれたり、筆談で対応してくれたりするようです。大学2年生となった1人は、興味ある分野の学びを深め、専攻科を今年3月に卒業する1人は、4月から大手の会社に就職が決まったそうです。卒業生がそれぞれ自立して自分の道を歩む姿は本当に嬉しく頼もしいものです。多くの聞こえる人たちの中で奮闘する先輩の姿は、進路に不安をもつ子どもたちを勇気づけることでしょう。



【進路・相談支援部より】

年度末を迎え、さまざまな旅立ちがあります。義務制が終わる中学生から高校生へとなる進路選択。高等部を卒業して就職、進学とそれぞれの道を選び進んでいきます。新しい環境に入っていき時に子どもたちに必要な力のことを「セルフアドボカシー」といいます。自分の障がいの状況をつかみ、何ができて、何が難しいのか、そのためにどのような支援をしてほしいのかを伝えることができる力です。その力を育てていくには、周囲の大人の関わり方が大切です。「自分でできた」「こうしたらできた」という経験を小さい頃から積み重ねていけるよう、見守っていきたいですね。



【2月の行事予定】

- 2日(木) 小高：校外学習
- 3日(金) 幼：豆まき、中：佐賀県立ろう学校との交流
- 7日(火) 小中：パワフルキッズタイム
- 8日(水) 幼：身体測定
- 10日(金) <学校公開デー>
全校授業参観・相談会、映画「ひげの校長」上映会
- 13日(月) スクールカウンセリング
- 14日(火) ひよこ組ワークショップ、中：学年末考査(～16日)
- 15日(水) 小：友情タイム
- 17日(金) 幼：入学者選考
- 20日(月) 小中：新入生入学説明会、PTA評議委員会
保護者と学ぶ規範意識学習会
- 22日(水) 幼：お別れ行事、小低：読み聞かせ
- 28日(火) 小：児童総会

